（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	星の王子			
○保護者評価実施期間	2026年　2月　1日	～	2026年　3月　10日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	35	（回答者数）	19
○従業者評価実施期間	2026年　2月　1日	～	2026年　3月　10日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	10	（回答者数）	10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　3月　31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	特別支援学校の児童を多く受入をしており、特性の理解を深め調和が難しい児童に対しても、各職員がきめ細かくコミュニケーションをとり、子どもたちに寄り添った活動、またストレスを与えないように支援を行っている。	日々の活動、支援の中で少しでも気になった事を職員間で共有し、次回の活動、支援に活かせるよう心掛けている。	事業所内外での研修等を行い、全職員が専門的な知識と技術力を高め成長していけるよう取り組みを行う。
2	職員会議など職員間で話し合う機会をもっと作ることで、職員間のコミュニケーションをより図りやすくし、同じ方向性を持って支援が行えるようにする。	保護者へは基本、その日の様子を送迎時に口頭でお伝えし、　ご家族と職員とのコミュニケーションを図るようにしている。	保護者面談等を積極的に行い、連携を深め、より良い支援が出来るように取り組んでいく。
3	定期的にイベント等を行い、共同作業や社会性を意識し、楽しく活動できる居場所づくりを心掛けている。	事前にイベント等の目的を理解し、振り返りを行い検証を行っている。	5領域の視点からも具体的な支援活動の取り組みを行いたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援学校や並行利用している児童の事業所との情報共有、連携があまり図れていない現状がある。連携を深めることにより、支援の幅を広げていくことが必要だと思う。	他事業や支援学校の関係者とも引き渡し以外での時間が取りづらい現状がある。	待機中等など自ら積極的に連携を取り、課題等の情報交換を行いたい。また継続的に行えるように考えたい。
2	HP等はあるが、施設の方針や支援プログラム等の情報発信手段が弱い。	SNS等も含め上手く活用したいが時間、費用等の問題がある。	外部機関等へ相談や助言も含め改善に向けて取り組んでいきたい。
3	地域との交流など、もっと地域に知ってもらえる事業運営を行っていきたい。	施設内の課題や日々の業務で時間がとりづらい状況がある。	支援時間以外の時間を有効的に活かし、計画的に地域に広めていきたい。